

日本栄養士会雑誌の見直しに向けた検討会議の概要について

【目的】

現在、日本栄養士会雑誌（以下、「雑誌」という。）は公益事業として発行しておりますが、日本栄養士会の全会員に無償で配布している。近年は、環境保護等から印刷紙の値上げや人件費の高騰等から、費用は雑誌の広告収益はあるが、会費収入による負担は増加傾向にある。さらに、本年10月から郵便料金が値上げされ、来年度の配布に係る費用増加が予定されており、雑誌の発行についての見直しが必要となっている。また、デジタル化が進展する中で、雑誌の発行形態についても検討が求められていることから、日本栄養士会の公益事業としての雑誌の在り方について検討する「日本栄養士会雑誌の見直しに向けた検討会議」（以下「検討会議」という。）を開催する。

【検討事項】

1. 雑誌の発行に係る経費に関する課題の整理と対応策について
2. 管理栄養士・栄養士（会員・会員外）への情報発信としての雑誌の役割（質と量）と見直しの方向性について
3. 雑誌のデジタル化に向け、ホームページ、SNS、Eメール配信等との連携と相互の有効活用（相乗効果）について
4. 1～3の検討を踏まえて、雑誌の次期（2026年1月号～2年間）事業委託のあり方について
5. その他、検討会議の中で検討が必要とされた事項について

【構成員】

赤尾 正 雑誌編集委員会委員長（学術研究事業部長）
本川佳子 雑誌編集委員会委員（学術研究事業副部長）
阿部絹子 雑誌企画委員会委員長
磯部澄枝 雑誌企画委員会副委員長
中田智子 情報コミュニケーション事業部部長
富田文代 情報コミュニケーション事業部雑誌担当

【スケジュール】

2024年11月～2025年4月までに4回開催

- ・第1回：2024年11月25日 情報交換及び課題の整理を行った。
- ・第2回：2025年2月 課題の要因を分析する。
- ・第3回：2025年3月 課題の要因に応じた対策を検討する。
- ・第4回：2025年4月 見直しの方向性と対策をとりまとめる。

【庶務】

検討会議の庶務は、日本栄養士会事務局企画広報課において担当する。

【必要経費】

情報コミュニケーション事業部の予算を充てる。

日本栄養士会雑誌の見直しに向けた検討会議 開催要領

1 目的

現在、日本栄養士会雑誌（以下、「雑誌」という。）は公益事業として発行しておりますが、日本栄養士会の全会員に無償で配布している。近年は、環境保護等から印刷紙の値上げや人件費の高騰等から、費用は雑誌の広告収益はあるが、会費収入による負担は増加傾向にある。さらに、2024年10月から郵便料金が値上げされ、来年度の配布に係る費用増加が予定されており、雑誌の発行についての見直しが必要となっている。また、デジタル化が進展する中で、雑誌の発行形態についても検討が求められていることから、日本栄養士会の公益事業としての雑誌の在り方について検討する「日本栄養士会雑誌の見直しに向けた検討会議」（以下「検討会議」という。）を開催する。

2 会議内容

検討会議の内容は、次の事項とする。

1. 雑誌の発行に係る経費に関する課題の整理と対応策について
2. 管理栄養士・栄養士（会員・会員外）への情報発信としての雑誌の役割（質と量）と見直しの方向性について
3. 雑誌のデジタル化に向け、ホームページ、SNS、Eメール配信等との連携と相互の有効活用（相乗効果）について
4. 1～3の検討を踏まえて、雑誌の次期（2026年1月号～2年間）事業委託のあり方について
5. その他、検討会議の中で検討が必要とされた事項について

3 構成

検討会議の構成員は、別表の情報コミュニケーション事業部及び日本栄養士会雑誌編集委員会・企画委員会に所属する者をもって構成する。

4 会議

- (1) 検討会議は日本栄養士会会長が招集する。
- (2) 検討会議には、アドバイザーとして関係者の出席を求め、会議内容に関する指導助言等を聞くことができる。

5 庶務

検討会議の庶務は、日本栄養士会事務局企画広報課において担当する。

6 その他

この要領で定めるもののほか、検討会議の運営等に必要な事項は別に定める。

附 則 この要領は、令和5年10月13日から施行する。